

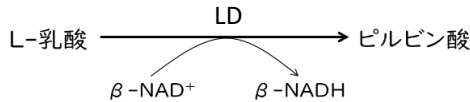
# 「セロテック」 LD-IF

IFCC標準化対応法(NMG緩衝液)

## ■特 長

- IFCC標準化に対応した試薬組成です。
- 直線性にすぐれています。
- 共存物質は通常の濃度では影響ありません。

## ■測定原理



LDはβ-ニコチン酸アミドアデニンジヌクレオチド酸化型(β-NAD)の存在下でL-乳酸をピルビン酸へと酸化する反応を触媒しますので、このβ-NADHの生成に伴う吸光度の増加速度を測定することによりLD活性値を求めます。

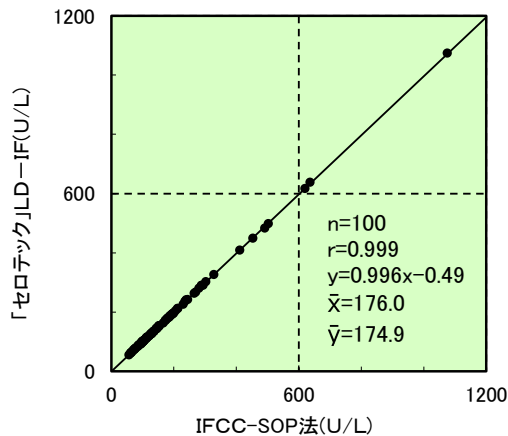
## ■測定条件(日立-7180の場合)

SAMPLE: 4.0 μL  
 R- I : 160 μL      R- II : 40 μL

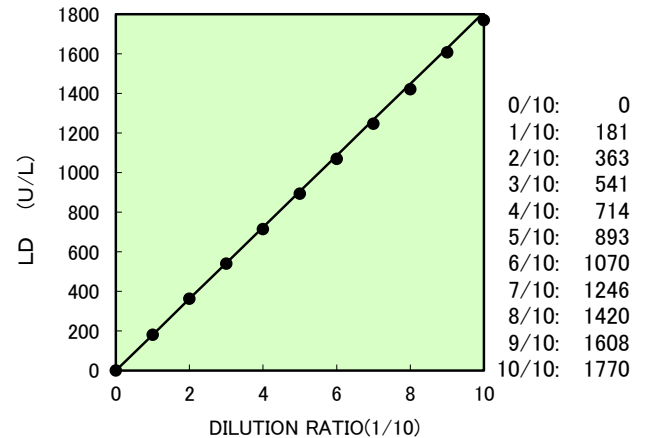
5.0 6.0 10.0(min)

分析法/測定ポイント: RATE-A 20-34  
 波長(副/主): 405/340  
 反応限界吸光度: 8000-増加  
 キャリブ-ECを使用  
 ※表示値はロットにより異なります。

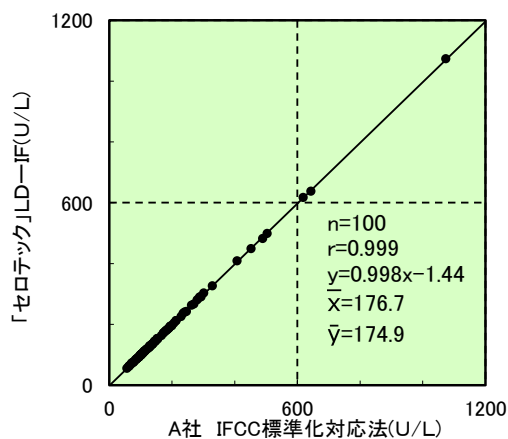
## ■相 関(血清)



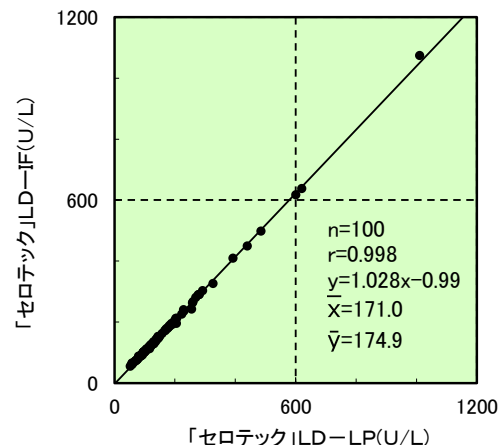
## ■直線性(LD ヒト赤血球由来)



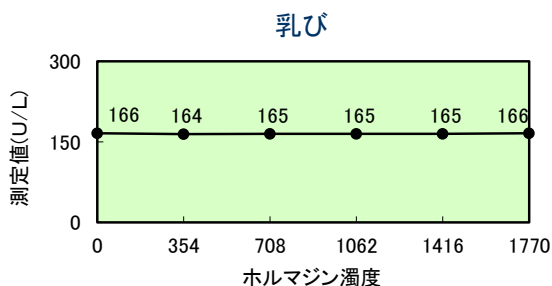
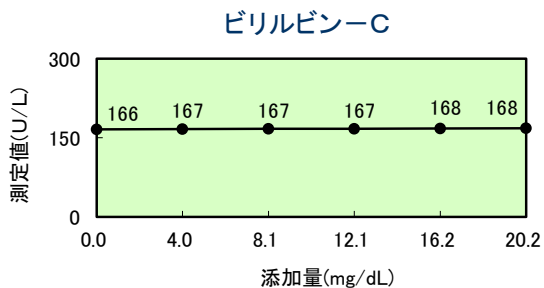
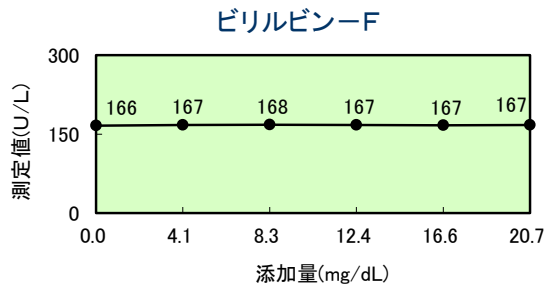
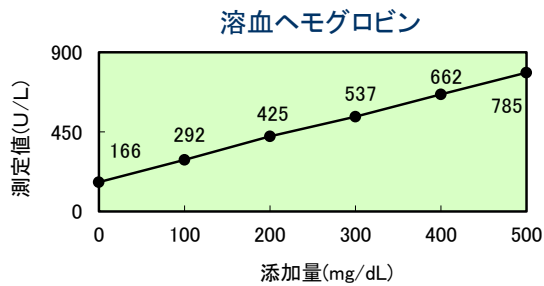
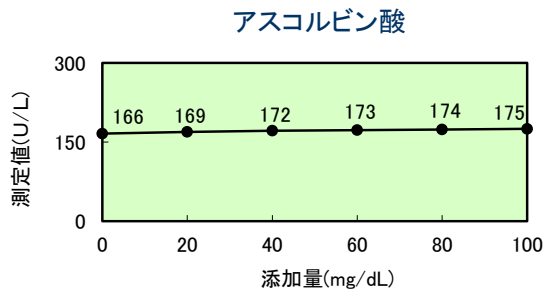
## ■相 関(血清)



## ■相 関(血清)



## ■ 共存物質の影響(血清)



## ■ 同時再現性

(単位:U/L)

	SERUM I	SERUM II
N	20	20
MEAN	123.3	338.4
MIN	122	336
MAX	125	341
R	3	5
SD	0.73	1.39
CV(%)	0.59	0.41

## ■ 包装

製品コード	製品内容	包装形態
A594-15	LD-IF (R-I)	60ml × 4
A594-27	LD-IF (R-II)	30ml × 4
A594-10	LD-IF (R-I)	80ml × 4
A594-20	LD-IF (R-II)	40ml × 4
A594-37	LD-IF (R-I)	200ml × 3
A594-40	LD-IF (R-II)	100ml × 3

## ■ 参考基準範囲

血清:124 ~ 222 U/L  
(JCCLS共用基準範囲より引用)

## ■ 貯法及び有効期間

2~10℃保存 製造後6ヵ月 (開封後は1ヵ月)

※使用上の注意等は添付文書をご参照下さい。



株式会社 セロテック

お問い合わせ先 (企画開発室)  
〒062-0021 札幌市豊平区月寒西1条8丁目8-7  
TEL 011-855-1131 FAX 050-3153-7493  
E-mail: kikaku@serotec.co.jp